

認定番号
ENNNNUN-0471

定期検査における検査項目、方法、判定基準

(1) 性能評価の条件となる装置・部品の検査方法

部品名	定期検査項目	検査内容	判定基準
巻上機	油漏れ	・制動面への油の付着はないか	・左記に油がないこと
		・オイル排出口からの油漏れはないか	・左記に油がないこと
エプロン	外観、長さ	・破損していないか ・著しい変形はないか ・長さが規定寸法通りか	・破損していないか ・著しい変形がないこと ・875mm以上であること

(2) 性能評価範囲の装置・部品の検査の方法

部品名	定期検査項目	検査内容	判定基準
ブレーキ	パッド厚み	パッドの厚み直接測定	パッドの厚みが4.4mm以上あること
	制動力	片側もしくは両側ブレーキによる無負荷上昇(微速)時のかご制止距離測定	・規定距離(150mm)以内に停止すること ・年次変化量が規定値(20mm)以内であること ・年次変化量から来年予想される停止距離が、規定値を超える恐れがないことを確認する
ブレーキ動作感知スイッチ	動作確認	開放、締結時の接点信号動作チェック	ブレーキの開閉と接点の開閉が確実に行われること
	寿命確認		動作カウンターで500万回以内
特定距離感知装置	動作位置	動作位置の測定	着床±75mmで動作すること
	寿命確認		設置後10年以内
安全制御プログラム	形式	安全制御プログラムが搭載されたPLCの型式チェック	大臣認定を受けたものと同じであること 機種FC5A-D32S3
	動作確認	模擬戸開走行試験	戸開走行保護装置が作動し、電動機およびブレーキの励磁コイルが電源から遮断されること
	寿命確認		設置後10年以内

上記以外は、平成20年国土交通省告示283号による

(3) UCMPを構成する各装置の点検方法・交換基準を以下のように定めます

名称	検査項目		検査方法	判定基準(注1)
電磁接触器 (S1 S2 BD MD)	S1 S2	動作	目視	良否
		寿命	Sカウンタ読取または稼働年数	100万回以下 または10年以下 一日1回自動で遮断されていることをカウンタの値から読み取る(注2)
	BD	動作	目視	良否
		寿命	BDカウンタ読取または稼働年数	25万回以下 または5年以下
	MD	動作	目視	良否
		寿命	BDカウンタ読取または稼働年数	50万回以下 または5年以下
かご戸感知装置	動作		目視	良否
	戸の全閉 位置からの距離	2S 3S CO 4CO	目視	25mm以下
		2U 3U	目視	50mm以下
	寿命		GLカウンタ読取または稼働年数	150万回以下 または15年以下
各階乗場のドアインターロックスイッチ	動作		目視	良否
	寿命		GLカウンタ読取または稼働年数	150万回以下 または15年以下
	戸閉時フックのかかり代		目視	7mm以上
特定距離感知装置	スイッチDZ1	動作	目視	床位置±75mmで動作すること
		寿命	使用年数	10年以下
	スイッチDZ2	動作	目視	床位置±75mmで動作すること
		寿命	使用年数	10年以下
巻上機	ブレーキ	ブレーキパッドの摩耗	パッドの厚みの測定	4.4mm以上
		油污損の状態	目視	油受箱内の油の有無
	ブレーキ動作感知 スイッチBS1	取付状態	目視	良否
		寿命	BDカウンタ読取	500万回以下
	ブレーキ動作感知 スイッチBS2	取付状態	目視	良否
		寿命	BDカウンタ読取	500万回以下
論理判定装置	PLC	動作	模擬戸開走行試験	良否
		寿命	使用年数	10年以下
インバーター	昇降用	動作	異常信号の有無	ないこと
		寿命	使用年数	15年以下
			コンデンサ残存量 (設置後6年達してから確認)	85%以下
かごつま先保護板		形状・支持	目視・測定	良否、長さ875mm以上
システムの機能検査		動作	模擬戸開走行試験	かごが制止すること

(注1) 各機器は、次の定期検査までに、寿命に達する恐れがある場合には交換を行う

(注2) 電磁接触器S1,S2は、1日1回自動で遮断し、接点の溶着がないことを確認している

(注3) 交換基準に達していなくても、検査員が必要と認めた場合はその時点で交換する。

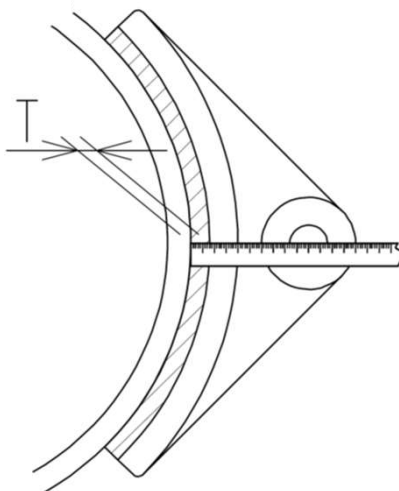
認定番号

ENNNUN-0471 KTM-60F

1. ブレーキライニングの検査

厚み:T	ブレーキ型式	初期値	要是正
	KBD-290DH	6mm	4.4mm(注1)

(注1)「ブレーキパッドの厚さの状況」については、次回検査までに「要是正の厚さ」となる恐れがある場合には、「要是正」として判定すること



2. 制動トルクの検査

巻上機モーター出力容量に対する制動バネ長さ及び制動トルク一覧表

モーター定格出力 (Kw)	圧縮時バネ長さ (mm)	両側制動トルク (N・m)	片側制動トルク (N・m)
5.5	93.7	40以上×2	40以上
7.5	92.2	50以上×2	50以上
11	88.2	75以上×2	75以上
15	84.3	100以上×2	100以上
18.5	81.2	120以上×2	120以上
22	78	140以上×2	140以上

- ・上記トルクは、ブレーキパッドの摩擦係数0.3、積載量110%、カウンターバランス45%の時の計算上のトルクであり、積載量110%をブレーキ片側で保持できる
- ・巻上機工場出荷時に、バネ圧縮量を確認し、制動トルクが上記値以上であることを確認する
- ・制動力は、モーター出力容量ごとに設定しており、ブレーキメーカーでトルクが出るように調整してある

3. ブレーキの寿命

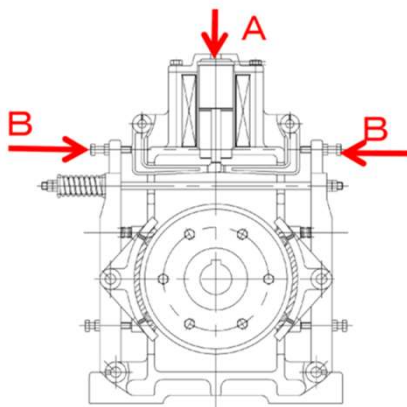
ブレーキ寿命は、20年間を想定している。ただし、下記部品は、点検または、検査時に下表の処置をおこなう

部品名	想定寿命	点検または検査時の処置
ブレーキパッド	10年	定期点検にて規定厚み調査、規定値に達したら交換
ブレーキコイル	15年	定期検査にて抵抗値測定、規定範囲外であれば交換
制動バネ	1000万回	定期検査での圧縮量確認、寿命回数に達したら交換
ブレーキコイル組	15年	定期検査での分解目視検査、摩耗部品は交換
ブレーキ動作感知スイッチ	500万回	定期検査での再調整、寿命回数に達したら交換

4. プランジャーstroークの検査

機種	合計レバー比	レバー比	鉄心部最少stroーク「A」	鉄心部最大stroーク「A」	調整ネジ部最少stroーク「B」	調整ネジ部最大stroーク「B」	標準stroーク調整ネジ部「B」で
KTM-60F	6.176	2.333	0.6	1.3	0.2	0.5	0.3

- ・ドラムとパッド間のクリアランスは、0.1mm～0.2mm
- ・stroーク測定は、調整ネジ「B」で行ってください
- ・ブレーキstroークは、パッドがドラムに擦らない最少クリアランスに調整し、上記の範囲に入っていることを確認してください

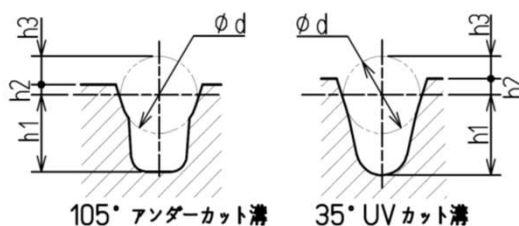


5. メインシーブロープ溝の検査

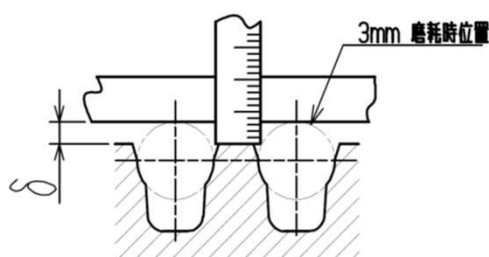
測定寸法 δ が規定値になったら交換してください

ロープ初期位置状態

UV溝 : 溝底丸



溝磨耗量測定方法



ロープ径 (d)		h1	h2	h3	δ
$\phi 10$	105° アンダーカット溝	10.0	1.6	3.4	0.4
	35° UVカット溝	—	—	—	—
$\phi 12$	105° アンダーカット溝	12.0	1.6	4.4	1.4
	35° UVカット溝	12.5	2.5	3.5	0.5
$\phi 14$	105° アンダーカット溝	14.0	1.6	5.4	2.4
	35° UVカット溝	14.0	3.0	4.0	1.0
$\phi 16$	105° アンダーカット溝	16.0	1.6	6.4	3.4
	35° UVカット溝	16.0	4.0	4.0	1.0
$\phi 18$	105° アンダーカット溝	18.0	1.6	7.4	4.4
	35° UVカット溝	18.0	4.0	5.0	2.0
$\phi 20$	105° アンダーカット溝	20.0	4.0	6.0	3.0
	35° UVカット溝	20.0	4.0	6.0	3.0